

2010年度支部総会報告

運営委員 森幸男

5/29午後、総会が開かれました。総会の資料・次第などは前号の絆にあります。議事の事業報告、決算報告、事業方針、予算案、新役員などはすべて提案どおり可決されました。

ここでは、講演「今を生きる証 !!」北見生活自立センター 代表 渡部哲也氏 を中心に報告させていただきます。報告としてはメモ的で不十分。そこは皆さんの体験で膨らませて補ってください。

1993年、(告知) 受け入れまで時間がかかった 病気進行 心に穴
不安と恐怖 . . . 3年目の朝
おまけの人生 外に出る 皆頑張っている
自分も頼ってばかりはいけない 他人を受け入れる 交流
明るく楽しいもの コミュニケーション練習
家族の限界 妻 家族 → デイサービス 介護保険制度 妻を休ませよう
受け入れる事業所がない 重度訪問介護 自立生活センター
健常者と同じ生活を諦める必要はない 自薦ヘルパー 旅行
どんなに重い障害があっても自ら幸福を追求する権利がある
ノウハウを教えてもらう 失敗する権利 自分の気持ちを相手に伝える
同じ人間 経験し失敗し成長していく 自分の考えで決めて行動していく
妻にも笑顔がもどる 家族で死にたいと思ったことが何度もあった
安楽死 尊厳死 を考えている人に伝えたい
尊厳死はあってはならない
ロックトインになったら 生きたいと思ったから今ここにいる
障害は個性
動いて伝えていくことに大きな意味がある



この後、写真をスクリーンに映し、1日の生活、生活環境、闘病の経過、社会参加、コミュニケーション方法、などなどを紹介していただきました。

休憩後、座席を参加者・発言者の顔が見えるように配置換えして行われた交流会についても報告したいのですが、メモ不足もありその責を果たせません。参加者の自己紹介を順に行う形で進められましたが、参加者の多さ、多様さもあり、有意義な交流会になったと思っています。

